

目的と相手意識をもって話す活動とその評価 (NEW HORIZON English Course 3 Unit 5 A Legacy for Peace)

①話・や

②個・表

②評価

③Web カメ

④Zoom

【ここがポイント！】

①ALT とのやり取りを自分で動画撮影し、すぐに分析する。

端末のカメラ機能を使い、ALT と自分のあこがれの人物について話している様子を動画撮影する。その後すぐに自分で動画を見直して分析すると同時に、ALT に評価してもらう。

②Zoom でカナダに住む元 ALT と話をする。

授業中（日本は午前9時～11時、カナダは午後7時～9時）に Zoom を使って元 ALT と話をする。話した内容に対して元 ALT からの質問を受け、その場で考えて答える。

【実践の目標】

自分のあこがれの人物について ALT に知ってもらうために詳しい情報を加えたり質問に答えたりしながら話すことができる。

【実際の場面】

1. 偉人や自分のあこがれの人について調べる

教科書がガンディーを紹介しているので、クロムブックで国内外の偉人や自分の興味がある分野で活躍している人について調べて情報を集めた。

2. 情報を整理する

紹介する人物を選び、どんな人物なのか、自分はどう思うかを整理した。

3. Zoom でカナダの元 ALT と話をする

代表で数名が話したり質問に答えたりしたことで伝えたい意欲が高まった。また、どんな人物を選んで紹介するといいいのかを考えた。

4. あこがれの人物についてまとめる

関係代名詞を含む後置修飾を使って作文した。キーワードだけ見て話す練習をした。

5. ALT とやり取りをする

別室で ALT と 1 対 1 でやり取りをする様子を動画撮影した。やり取りの制限時間2分以内で詳しい情報を加えたり質問に答えたりした。

6. 分析、評価する

撮影後すぐに自分で動画を見て分析した。動画は Google クラウドに提出し、指導者が ALT と評価した。

三原市立久井中学校



【成果と課題】

【成果】

○Zoom でカナダにいる元 ALT と話せたことで、意欲が高まった。
○ALT とのやり取りを動画撮影してすぐ自分で振り返らせることで、客観的に分析したり新たな目標を決めたりすることができた。
○やり取りをした ALT と提出した動画を見た指導者として「話すこと」について、同じ基準に基づき、複数の目で評価を行うことができた。

【課題】

○ALT と話す緊張感も加わり、質問されたことに答えたり新たな説明をしたりする即興的なやり取りが十分にできていなかった。活動時間を確保したり表現を増やしたりしていきたい。